

マイナンバーによる情報連携の正確性確保に向けた 総点検の実施にあたって

マイナンバーと各種制度における固有番号との紐付け誤りが生じていることから、国においては、「マイナンバー情報総点検本部」を設置し、本年秋までをめぐりに、マイナポータルで閲覧可能な情報を有する全ての制度等について、紐付けの正確性確保に向けた総点検を実施するとしている。

具体的には、関係省庁から紐付け実施機関に対し、現状の紐付け方法の確認を行うとともに、その確認結果を踏まえ、全データの点検、誤紐付けの修正、情報漏洩の有無に関する調査などを実施し、結果の公表を求めるとしている。

デジタル社会の実現に向けては、その基盤となるマイナンバー制度に対する国民の信頼、理解を得ることが非常に重要であることから、国と地方が一体となった取組が必要である。総点検の実施の必要性については、全国知事会としても理解するところであるが、業務を担う地方自治体の負担を鑑み、現場の声を丁寧に聞きながら、点検を進めていただきたい。

については、国が実施する総点検に関して、全国知事会として、下記のとおり要請する。

記

- 1 速やかに全体の具体的な作業工程やスケジュール等を明らかにすること。
- 2 地方自治体が実施する点検作業への適切な支援を行うとともに、当該業務に係る費用も含め、地方自治体の負担が生じないように、十分配慮すること。
- 3 総点検の円滑な推進に向けて、地方との意見交換を丁寧に行うなど、現場の声に寄り添いながら実施すること。

令和5年7月6日

全国知事会会長

鳥取県知事 平井 伸治

全国知事会デジタル社会推進本部長

山口県知事 村岡 嗣政